

日本庭園学会ニュース

The Academic Society of Japanese Garden News

NO. 91

平成29年

平成29年度日本庭園学会

関西大会案内

発行 日本庭園学会(会長 鈴木久男)
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1
東京農業大学 地域環境学部 造園科学科
庭園文化研究室内
TEL(03)-5477-2430(鈴木誠研究室)
<http://www.soc.nii.ac.jp/asjg/>

平成29年度 日本庭園学会 関西大会案内

下記の要領で、平成29年度日本庭園学会関西大会を開催いたします。

1日目の11月11日(土)は、現地検討会として午後から京都市指定名勝三千院庭園(京都市左京区大原)の見学を行います。三千院庭園では平成27年度から有清園の園池護岸修理が行われています。考古学的調査による庭園遺構の確認状況や、護岸修理の考え方、現在の修理状況等について、修理担当者(中根庭園研究所:工事部長 川内氏・難波氏)、京都市文化財保護課:今江氏からご説明いただく予定です。

2日目の11月12日(日)は、京都アスニー第3研修室(京都市中京区)を会場として、研究発表会を午前、午後は同じく京都アスニーで開催される京都市埋蔵文化財研究所と京都市考古資料館の共済による講演会「院政期御堂の荘厳と儀礼」に参加いたします。鳥羽離宮の発掘調査担当者をはじめ3人の講演とディスカッションが予定されています。長年にわたる鳥羽離宮研究の成果を学ぶ絶好の機会です。

なお、1日目夕刻にははじめての試みとしてイブニングセッション(懇親会)を開催いたします。夕食をとりながら、テーブルごとに文化財の公開と保全についてなど、日本庭園に関する意見交換をおこないます。

みなさまのご参加をお待ちしております。

記

■日時

平成29年11月11日(土)、12日(日)

■会場

会場:京都アスニー(京都市生涯学習総合センター)他

■参加費(2日間)

大会参加費:学会員・学生500円、非学会員1,000円

現地検討会参加費:1,000円(資料代含む)

イブニングセッション(懇親会):4,000円

■参加申し込み

当日、会場あるいは集合場所に直接お越しください。

会場準備の都合上、可能な限りメールあるいはファクシミリで以下の項目について、11月6日(月)正午までに申し込んでください。なお、電話でのお問い合わせには対応できませんのでご了承ください。

- ① 参加者氏名
- ② 当日連絡の取れる連絡先
- ③ 参加するプログラム

(現地検討会・イブニングセッション・研究発表会)

連絡先:日本庭園学会関西支部事務局

ファクシミリ番号:075-791-9127

電子メール:naka@kuad.kyoto-art.ac.jp(関西支部長仲隆裕)

<問い合わせ>

宮内泰之(日本庭園学会 総務担当)

電話:042-376-8602 メール:miya@keisen.ac.jp

スケジュール

○11月11日(土)

13:45 大原三千院拝観受付前集合(京都市左京区大原来迎町540)

交通：京都駅 C3乗り場から京都バス・17(大原行)12:28発、大原13:36着 徒歩約10分
市営地下鉄国際会館前から京都バス・19(大原行)12:53発、大原13:15着

14:00 現地検討会

開会あいさつ

有清園にて、護岸修理状況の解説、聚碧園の見学

16:30 終了(イブニング・セッションは自由参加です。)

移動、休憩(各自) ※参考:京都バス16:59京都駅前行 17:37川端丸太町下車
京都バス17:14京都駅前行 17:52川端丸太町下車

18:30 イブニング・セッション(懇親会)

企画：今江秀史・森泰規

会場：職員会館かものがわ

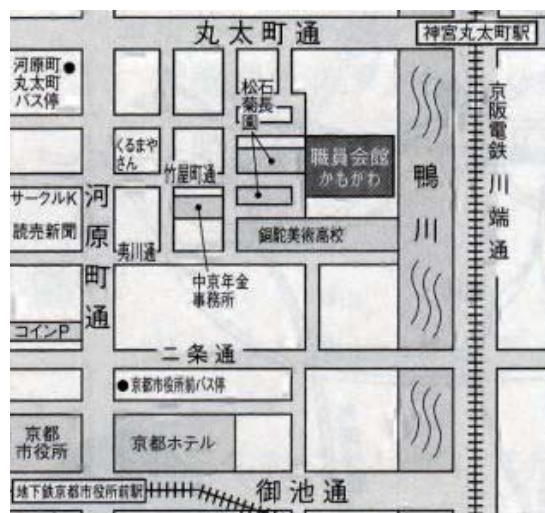
住所：京都市中京区土手町通夷川上る末丸町284

電話：0120-82-5252、075-256-1307

交通：京都市役所から徒歩10分、京都バス川端丸太町・京都市バス河原町丸太町
京阪電鉄神宮丸太町駅から各徒歩約5分

注意：駐車場はありません

20:30 終了(企画は1時間程度)



○11月12日(日)

9:10 受付開始

9:30～12:10 研究発表会 発表20分間、質疑応答・交代5分間

会場：京都アスニー(京都市生涯学習総合センター)第3研修室

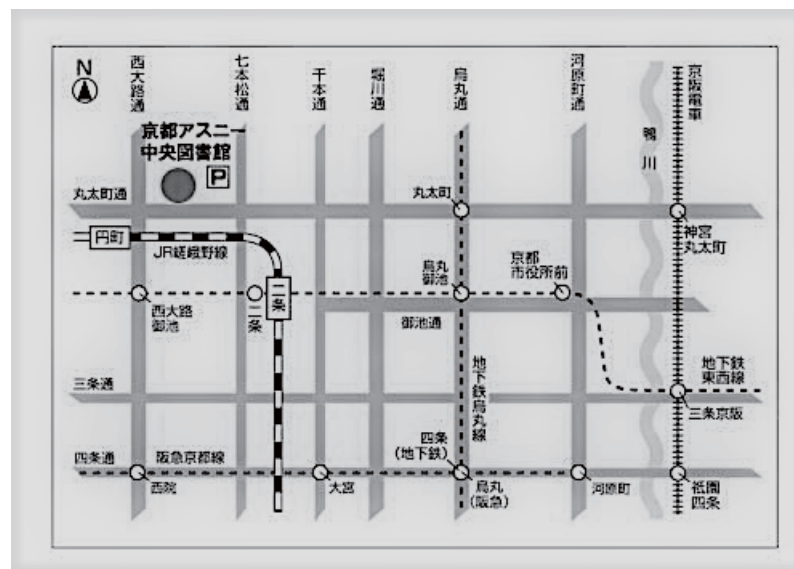
住所：京都市中京区丸太町通七本松西入

電話：075-812-7222

交通：JR京都駅から京都市バス206(乗車約22分)千本丸太町下車、西へ約400m

13:00～17:00(予定)文化財講演会「院政期御堂の荘厳と儀礼」

会場：京都アスニー(京都市生涯学習総合センター)4階ホール



研究発表会スケジュール

(9:30～9:55)

1. 姫路城三の丸向屋敷庭園の復元的考察 西 桂

姫路城は国宝の名城として知られているが、これまで内曲輪には庭園の存在は認められなかった。所が平成五年に大分市で発見された「播州姫路城絵図(大絵図)」によって、三の丸向屋敷に壮麗な庭園が存在していたことが判明した。姫路市では平成27年度より「姫路城公式ガイドツール」の作成事業が進められている。CGの作成も含めた復元作業で、その一員として係わりを持つ中で進めてきた向屋敷庭園の復元的考察を報告する。

(9:55～10:20)

2. 真田藩の城下町である松代町に残る絵図に描かれた庭園について 佐々木邦博(信州大学)

真田藩の城下町である長野市松代町には、庭園などを描いた絵図が残されている。新御殿であり真田邸と呼ばれている屋敷には現在でも御殿と庭園が残されているが、創建当初に描かれた「水心秋月亭図巻」がある。また、現存していないが、城内の花の丸庭園を描いた絵として「曲大直小図」など、数枚の絵が残されている。これらの絵図から、松代町の庭園の姿を検討する。

(10:20～10:45)

3. 育徳園の現状と課題4 護岸と橋脚について 原祐一(東京大学埋蔵文化財調査室)

現在の東京大学本郷キャンパスは江戸時代の加賀藩江戸藩邸跡で中央に配置されている池は育徳園と呼ばれた庭園である。今年度、池が干上がり江戸時代の橋脚が現れたため簡易測量を行った。絵図と庭園図を検討した結果、江戸時代以降、橋の両端の園路が埋め立てによって園路の幅が広げられていた。また、池の西側崖部分で倒木があり、護岸の埋め立てを確認した。絵図と庭園図に描かれた橋と護岸、現在の状況について検討を行う。

(休憩)

(10:50～11:15)

4. アート・マーケティング発想に対する社会的留保 森 泰規

(株式会社博報堂 ブランド・イノベーションデザイン局)

昨今芸術文化団体にも資金獲得のための教育普及プログラム整備とマーケティング発想が求められるとの議論がある。一方、そうした発想を十分な協議なく実践の担い手に強要するとかえって物事が進まない面もある。この問題に対し構造的に対処するため、人は規範や社会的文脈のもと、<必ずしもメリット(だけ)に応じた合理的判断を行う主体とは限らない>という留保を置く社会的視座を置き、今後の展開に向けた試論を呈する。

(11:15～11:40)

5. 江戸期における京都御所御池庭・御内庭の変遷(その2) 杉尾伸太郎

2014年の発表後、安政前後における新たな指図を発見したので、この指図を基に考察を行った。既に発見した指図に加え、菅沼氏提供の中井家文書安政度指図の3点について、指図の差異と時代推定を御池庭・御内庭の変遷の解明を目的に考察した。

(11:40～12:05)

6. 後水尾天皇の行幸が二条城二之丸庭園に与えた影響 今江秀史(京都市文化市民局文化財保護課)

徳川秀忠・家光は、二条城へ御水尾天皇の行幸を招来した。その際、天皇の居所となったのが二之丸御殿であった。これまでの研究において二条城二之丸庭園は、行幸に伴って改修されたことが指摘されてきたが、その論拠は外観観察などによるものであった。本発表では、御水尾天皇の行幸以前の二之丸庭園を取り巻く対人関係と出来事から、その改修が必然であったことを立証する。

【会費納入のお願い】

学会費の納入額をご確認のうえ、納入のほどよろしくお願ひします。また、過年度滞納の方は併せて納入のほどよろしくお願ひします。

協力者 : 中野理香 (植彌加藤造園株式会社)

日本庭園学会広報委員会

今江秀史、加藤友規

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-1

京都造形芸術大学日本庭園研究センター 1 階

日本庭園学会関西支部事務局 FAX(075)791-9342